特別養護老人ホーム 平寿園

各部署の取り組み結果報告　　令和７年度

《　介護サービス　》

１）　その人らしい生活を送れるような雰囲気・環境つくり

・利用者に寄り添い、笑顔で生活できるような環境つくりを行う。

◆一人一人の気持ちに寄り添い、話し相手をする事で、自然な笑顔も見られ、穏やかな雰囲気を作る事が出来た。

◆利用者が楽しめる余暇活動やグループリハを工夫し参加してもらった。

◆塗り絵が好きな利用者に題材を提供し楽しんでもらい、作品を展示した。

・リビングや居室等の生活環境を整え、好きなときに好きな場所で過ごしてもらう。

◆利用者が好きな時間に、好きな場所で過ごしやすい環境を提供した。

・家族との面会や電話等で会話できる機会をつくり、利用者様が喜び安心できる状況をつくる。

◆家族に電話をかけたいとの要望に応じ家族との繋がりを感じてもらう支援が出来た

◆感染予防により、パーテーション越しの面会だったが、家族との交流の機会を大切にすることが出来た。

◆親子で入所中の利用者同士を希望時に面会の機会を提供し喜んでもらった。

・特定技能介護職員の指導（日本の文化・風習・生活習慣）や利用者様が異文化と交流できる機会をつくる。

◆特定技能介護職員への指導も行い、分からない事は分かるまで説明し、職員間のコミュニケーションも図ることが出来た。

◆他国の人とは感じないほど介護に携わる職員と利用者がコミュニケーションがとれ、今後重要な働き手となると感じた。

２）事故発生の予防や様々な災害のリスクに備える。

・他職種よりも感染リスクが高い事を意識した健康管理。

◆他職種と比較し感染リスクが高い事を意識しながら、手洗い・うがい・手指消毒を徹底した。

◆熱や咳、少しの体調異常に気づき、居室対応や離れた場所で過ごしてもらうなどの対応をした。

◆感染が施設外で流行している時期は、利用者が対面に座らないよう工夫する配慮で予防を行った。

・感染予防対策を行いながら、積極的な行事実施（散歩やレクレーション等）

◆行事ごとを計画する事が出来なかったが、グループ体操時に季節に合わせた歌をみんなで歌ったり、ボール遊びやゲームなど企画し、楽しい時間を過ごすことが出来た。

・事故や災害時、迅速かつ確実な行動がとれるよう、マニュアルの確認や訓練を繰り返し行う。

◆事故発生後には事故報告を基に反省、対策事項を共有した。

◆台風や積雪が予想される時期は、マニュアルの確認や凍結予防等の対策を行い想定される事故等の発生の予防に努めた。

・必要なサービスが安定的に継続提供できるよう、無駄・不必要支出をカットし代替用品の工夫や使用量を見直す。

◆グループ会議でオムツやパットの見直しを行い、節約に努めた。

◆エアコンの設定温度をこまめにチェック調整し、節電に努めた。

３）不適切ケアに気づき、職員間で共有する。

・Web 研修を活用し、不適切ケアを学び、共有知識を深める。

◆ジョブメドレーで個々の学習は出来たが、共有する場を持てなかった。

◆Web 研修で学ぶ時は分かっていても，不適切ケアに気づかず業務を行い利用者を不快にさせているのでは？と感じる場面もあった。

・月々の勉強会で不適切ケアに関しての話し合いの場を持ち、言葉の言い換えや代替案を共有し実践する。

◆申し送りノートを通じての共有はあったが、話し合いの場を持つ事が困難だった

◆不適切な事案に気づいた時にお互い同士で注意し合った。

・利用者様に合わせた介護ができるよう介護力アップを目指し、職員個々の質、能力に合った指導と業務体制つくりを行う。

◆職員同士で気づきがあるとその場で伝え、改善することは改善し、職員間で共有し統一した介護を行った。

＠資格取得

介護福祉士　（受験なし）　　介護支援専門員　（受験なし）

【事故報告について】　件

・転倒１０件（夜間５件・昼間５件：内受診１件：骨折で入院）

・転落７件（夜間４件：１件病院に連絡し医師の指示を仰ぐ・昼間３件）

・擦過傷１件（ステリテープ）

・荷物持たせ忘れ４件　　・器物破損　５件　　・徘徊　２件（施設内・屋外）

・誤薬１件（病院連絡し医師の指示仰ぐ）　　・与薬忘れ　２件

・異食１件（おやつの袋）　　・異物混入１件

・誤嚥１件（昼食時：麩の卵とじ）　　・その他１１件

【　看護　】

１）　感染症対策に努める。

・感染予防対策として、うがい・手洗い・手指消毒の施行、換気・密集・密接の回避を行う。

◆一行為一手洗いを心がけて行い、1 日 3 回の換気放送を行い感染症予防に努めた。

・入所者様に接触するため、病原体の媒介者にならないよう日常の健康管理に努める。

◆7 月に利用者 8 名、職員 8 名がコロナに感染したが、毎朝のミーティングでその日の対策を話し合い、対応したことで感染拡大を予防することが出来た。

・ＢＣＰ計画の見直し、訓練研修を行う。

◆感染症対策委員会時に見直しを行う事が出来た。

２）利用者の健康管理に努める。

・医定期健康診断、各種検査を行い医師との連携により、医療へ繋げていき、健康状態を把握する。

◆月 1 の定期受診や年 1 回の健康診断を受け、異常時は早めの入院治療をする事が出来た。

・個々の状態に適した運動、食事の必要量を介護職員と情報共有し健康の維持に努める。

◆利用者の状態に合わせて、食事量の増減や形態を介護職や栄養士と検討し、健康を維持することが出来た。

・状態の変化に速やかに対応（受診）し、疾病の予防・治療に努める。

◆突発的な意識状態で急変する利用者がいたが、介護職員の判断で早急に受診対応することが出来た。

3） 機能訓練への取り組み。

・リハビリメニューを作成し、計画に沿った訓練を実施する。

◆リハビリメニューに沿った訓練を行う事で、身体機能を維持する事が出来た

・グループ体操や食前の口腔体操を取り入れ生活リハビリを行う。

◆テレビ放送でのリハビリ体操や、職員による食事前の口腔体操を行う事で言葉を発する利用者が増えた。

・口腔内を清潔にする為、歯科衛生士に相談し、個々にあった口腔指導を実施する。

◆月１の往診で、歯科衛生士の指導のもと、口腔内を清潔にすることが出来た

【　調理・栄養士　】

1） 衛生管理の徹底により食中毒を予防する。

・調理器具の油残り等がないように洗浄機使用、その他手洗いする物は洗い残しがないように丁寧に洗う。

◆洗い残しを随時周知する事で、以前より良くなった。

・洗浄室の切り込み時、二次感染にならないよう一工程一手洗い・器具洗いの徹底

◆一工程一手洗いは出来ていた。感染症や食中毒を出すことなく、作業が出来た。

・湿度が高い時の換気の調整を行う

◆温度や湿度が高い時は、エアコンを調整するなどの対応で調節したが、ガスで調理する為、思うように管理が出来ない日もあった。

2） 季節を感じてもらえる食事の提供。

・季節の食材を盛り込んだバラエティに富む献立作りを行う

◆季節の食材を取り入れた食事の提供は出来た。

春：ふき・セリ・桜餅　　夏：ミョウガ・茄子・すいか

秋：南瓜・山芋・柿　　冬：薩摩芋・蕎麦など

・利用者様の好む料理を提供する。

◆誕生会やバイキング時、下膳時に利用者様の好きな食べ物を聞き、要望の多かった料理を提供した。

・季節の食材を取り入れた行楽弁当を提供する。

◆お盆の煮しめや年越し弁当、年始のおせちなど、季節に合った料理の提供が出来た。

3） 各部署との連携による体力維持の支援。

・嚥下状態を見ながらソフト食・ゼリー食を提供し、経口摂取が継続できるよう努める

食事低下の方への補助食品　　CZ ゼリー・エネプロゼリー等

水分がとれない方　　OS１ゼリー・ｳｨﾀﾞｰｾﾞﾘｰ・汁ﾐｷｻｰｾﾞﾘｰ等

◆看護、介護に食事の摂取状況を確認し、CZ が飲めない方にゼリー状にして提供する事で食べてもらえた。

◆BMI が低い方に 160cal のジュースを提供した。

◆ミキサー食で飲み込みやすい硬さのゼリー食の提供を行った。

【　介護支援専門員　】

・入居者ひとりひとりに合ったプランを作成するために、心身の状態の把握やご本人の要望を時間を取って聞き取るようにする。

◆心身の状態の変化があればプランを修正したり、本人に要望事項を確認するなどして、現状に合ったプランを作成するよう努めた。

・ケアプランが確実に実行されるよう、関係職員や担当職員への周知に努める。

◆プランが確実に実行されるよう月ごとの評価を確認し、不十分な点は担当グループに実施を促した。

・ご家族へのプラン説明や心身状態の説明を機会あるごとに行い、入所者様の日常の様子を知って頂く努力をする。

◆家族に対しては、プラン内容について承認を得るとともに、面会の機会を捉えて日常の様子や介護で気をつけている点を説明することができた。

【　事務管理　】

経費・節約

・光熱費は必要以上に使用することがないよう各部署と連携し、常に意識づけを行う

◆光熱費については年末から 3 月にかけて、特にガス料金の費用が大きく目立った。

・購入物品については、取引業者より情報収集を行い、価格の変動に気をつける。また、備品や消耗品の管理を行い、余計な購入がないようにする

◆物価高騰による価格の変動もあったが、物品購入等については各取引先と仕入れの情報共有が出来た。

事務処理

・介護報酬の仕組みを理解し、処遇改善加算の申請を行う

◆労務管理・財務管理の研修に参加し、知識を深めることが出来た。

◆補助金や加算など、厚労省の介護保険情報を常に確認した。

・仕事の優先度と重要性を把握し、効率的な事務処理を行う

◆何を優先すべきか考え、重要性の高い事案から事務処理を行うよう努めた。

・各部署ともコミュニケーションを図り、ご家族からの要望や問い合わせにも円滑な対応が行えるように取り組む

◆各部署の職員、また、利用者様、その御家族様と良い関係を築くため、常に相手の立場になって考えることが出来た。

・園便りの活用で園内の正確な情報を発信する

◆毎月園便りを発行し、園生活の様子を御家族や村内に発信することが出来た。

【　相談員　】

・災害や地震発生時に、適切な初動行動がとれるよう基本動作を習得し訓練計画に生かす。

◆火災、震災発生時の初期動作について意見を出し合ってもらい協議。安全確保や避難や備蓄についてなど細かいところまで話し合うことが出来た。

・感染症においては、感染防止を行いながら関連する動向や情報を注視する。

◆日常的に手洗い、うがい等の感染予防を徹底した。

◆コロナ感染者が出た時には毎朝ミーティングを実施して、各部署間で情報を

共有し、感染拡大を防ぐことが出来た。

・地域交流の活動や受け入れにおいては、そのときの状況に合わせ家族や地域と連携を図りながらふれあいの場を提供する。

◆感染症関係にて、施設内ではふれあいの場を提供する事は出来なかったが村内老人クラブ連合のボランティア来園時に地域の人と窓越しではあるが面会することが出来た。（９月敬老会においては感染症対策を行い実施）

◆ご家族とは、感染対策をしっかりと行い、１５分間と短い時間だったが対面で面会することが出来、お互いに安心してもらう事が出来た。

・外部からの苦情・問い合わせに対しては情報を収集し、迅速かつ適切に対応する。

・利用者・職員とのコミュニケーションを密にし、要望やニーズを汲みとり安心して相談できる環境つくりを行う。

◆出来るだけ多くの利用者と会話出来るよう笑顔で言葉をかけながら、交流を図った。
職員からの相談等では、出来るだけ納得してもらえるよう一緒に考えながら、話を傾聴した。

・職員のよりよい就業環境を整えるため、随時に合わせた勤務調整を行う。

◆職員の急な休みや退職後の人員不足を補うよう勤務調整を行った。

生活困窮者等に対する相談支援事業
「みやざき安心セーフティネット事業」 への取り組み

６月　３日　椎葉村生活困窮者支援調整会議に出席
１０月１０日　安心セーフティネット事業ケース会議
２月　２日　椎葉村生活困窮者支援調整会議に出席
村社会福祉協議会と連携し１件の支援を行った

【　　令和７年度　外部研修　　】

月	日	研修名	会場	出席者
６	３	介護福祉士実務者研修	日向市	介護職員
	４	会議支援専門員更新研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	５	労務管理研修	リモート	施設長員
	６	介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	１０	介護福祉士実務者研修	日向市	介護職員
	１１	介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	１２	労務管理研修	リモート	施設長
	〃	介護支援専門員更新研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	１８	介護支援専門員更新研修	宮崎市	介護職員
	〃	介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	〃	社会保険制度説明会	日向市	施設長
	〃	社会保険制度説明会	〃	事務員
	１９	労務管理研修	リモート	施設長
	〃	みやざき安心セーフティネット相談員研修会	宮崎市	介護支援専門員
	２３	介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	〃	介護支援専門員更新研修	宮崎市	介護職員
	２４	介護福祉士実務者研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	２５	介護支援専門員更新研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	２６	労務管理研修	リモート	施設長
	３０	介護支援専門員更新研修	Zoom	介護職員
	〃	介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
７	１	介護支援専門員再研修	宮崎市	介護職員
	７	介護支援専門員更新研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	８	社会福祉経営支援ｾﾐﾅｰ会計・財務管理研修	宮崎市	施設長
	〃	〃	〃	事務員
	〃	介護福祉士実務者研修	日向市	介護職員
	９	介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	１１	介護支援専門員更新研修	Zoom	介護職員
	１３	介護支援専門員再研修	宮崎市	介護職員
	１５	介護福祉士実務者研修	日向市	介護職員
	１６	介護支援専門員更新研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	１８	県北ブロック施設長研修	高鍋町	施設長
	〃	社会福祉施設等給食研究会及び研修会	門川町	栄養士
	２２	社会福祉経営支援ｾﾐﾅｰ会計・財務管理研修	宮崎市	施設長
	〃	〃	〃	事務員
	〃	介護支援専門員更新研修	Zoom	介護職員
	２３	介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	２８	介護福祉士実務者研修	延岡市	介護職員
	２９	介護福祉士実務者研修	日向市	介護職員
	３０	労施協災害対策委員会	宮崎市	施設長
	〃	認知症介護基礎研修	Eﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	３１	介護支援専門員再研修	宮崎市	介護職員

８	２	介護支援専門員協会県北ブロック研修会	日向市	介護支援専門員
	４	県北ブロック看護職員研修	延岡市	看護職員
		介護福祉士実務者研修	〃	介護職員
		介護支援専門員再研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	８	介護支援専門員再研修	宮崎市	介護職員
	１６	介護支援専門員更新研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	１８	介護福祉士実務者研修	延岡市	介護職員
	１９	県北ブロック栄養士・調理員研修会	日向市	栄養士
	２５	介護福祉士実務者研修	延岡市	介護職員
	２６	介護福祉士実務者研修	日向市	介護職員
９	１	介護福祉士実務者研修	延岡市	介護職員
	３	社会保険制度講習会	日向市	事務員
	８	介護福祉士実務者研修	延岡市	介護職員
		〃	〃	介護職員
		みやざきセーフティネット相談員研修会	宮崎市	介護支援専門員
	９	介護福祉士実務者研修	延岡市	介護職員
	２２	介護福祉士実務者研修	延岡市	介護職員
	２４	県北ブロック介護職員研修	川南町	介護職員
１０	３	高齢者施設等における感染症予防対策研修会	日向市	施設長
	１６	認知症介護基礎研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	２０	処遇改善加算セミナー	日向市	事務員
	２３	認知症介護基礎研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	２４	認知症介護基礎研修	ｅﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護職員
	〃	県北ブロック事務長・事務職員研修	日向市	施設長
１１	１３	県北ブロック生活相談員研修	延岡市	生活相談員
	１９	介護施設等従事者結核研修会	ｵﾝﾗｲﾝ	看護職員
	２０	介護施設等における口腔ケア等指導研修	椎葉村	生活相談員
	〃	〃	〃	介護支援専門員
	〃	〃	〃	生活相談員
	〃	管内給食施設研修会	ｵﾝﾗｲﾝ	栄養士
	２１	社会福祉施設等給食研究会及び研修会	日向市	栄養士
１２	１０	介護予防ケアマネジメント研修	延岡市	介護支援専門員
	１８	介護現場における生産性向上の実践	延岡市	施設長
１	２５	県栄養士会研修会	宮崎市	栄養士
２	３	県認定調査員現任研修	eﾗｰﾆﾝｸﾞ	介護支援専門員
	６	特養県北ブロック施設長会	日向市	施設長
	〃	社会福祉施設等給食研究会研修会	日向市	栄養士
	８	日本在宅栄養管理学会宮崎県支部会研修会	宮崎市	栄養士
	１０	処遇改善加算セミナー	日向市	事務員
	１１	県介護支援専門員協会研究大会	宮崎市	介護支援専門員
	〃	〃	〃	介護支援専門員
	１８	県老人福祉サービス研究大会	宮崎市	施設長
	〃	〃	〃	事務員
	２４	適切なケアマネジメント手法を生部研修会	日向市	介護支援専門員

	26.27	九社連老人福祉施設協議会施設長研修会	佐賀県	施設用
3	5	高齢者のフレイル予防研修会	日向市	介護支援専門員
	23	介護福祉士実務者研修	美郷町	介護職員
		〃	〃	介護職員
		〃	〃	介護職員
	30	介護福祉士実務者研修	美郷町	介護職員
		〃	〃	介護職員
		〃	〃	

園内研修

期日	内　　容	職員
４／２４	伝達研修　管内給食施設研修会他 看護企画　　「口腔ケア」	園長　他３１名
５／２６	伝達研修　県北ブロック施設長会 そよかぜ企画 「移乗基礎知識について」	園長　他３５名
６／２６	伝達研修　社会保険制度説明会他 ２階　企画　「虐待・拘束について」	園長　他２６名
７／２８	伝達研修　県北ブロック施設長研修会 デイサービス企画「レクレーションの指導方法」	園長　他３０名
８／２７	伝達研修　会計・財務管理研修他 調理企画　　「摂食・嚥下について」	園長　他２９名
９／２６	事務所企画「クレーム対応」	園長　他２９名
１０／２７	伝達研修　介護福祉士実務者研修 ふるさと企画 「認知症ケアについて」	園長　他２５名
１１／２６	伝達研修 そよかぜ企画　「精神的ケアに関する研修」 （新人への指導法・苦手な人との付き合い方）	園長　他２９名
１２／２６	伝達研修 看護企画　「老化による機能障害の基礎知識」	園長　他２５名
１／２６	伝達研修 デイサービス企画「リスクマネジメント研修」	園長　他２９名
２／２５	ふるさと企画「不適切介護について」 （中止の為、文書のみ配布）	
３／２６	伝達研修 ２階企画　「プライバシー保護について」	園長　他２７名

身体拘束に関しての職員研修	６／２６	・虐待と拘束について	園長　他２６名
口腔衛生管理研修	１２／２３	・ブラッシング指導	看護 介護　12名

【グループ研修（勉強会）】

【介護】		
４／１４	・水、土、日の業務の流れについて ・オムツ、オムツホルダーの当て方について	そよかぜ　ふるさと 計　６名
４／３０	・業務の流れについて ・オムツ等の節約、介助方法の共有	２階　　計　５名
５／１０	・業務分担について ・オムツの見直し、利用者対応について	そよかぜ　　計　４名
５／１７	・プランの確認及び介助方法の共有について ・業務内容の確認	ふるさと　　計　４名
５／２２	・オムツの見直し ・洗体ストレッチャーの使用方法	２階　　計　５名
６／２２	・利用者対応等業務内容の確認 ・介助方法の共有	２階　　計　３名
６／２７	・レクレーション、グループ体操について	２階　　計４名
７／３	・業務内容の確認 ・利用者対応の共有事項の確認	そよかぜ　ふるさと 計　６名
８／９	・入浴日・入浴方法の検討 ・利用者対応の共有事項の確認	２階　　計　４名
８／２４	・オムツの当て方について ・義歯の装脱着の再確認	そよかぜ　ふるさと 計　５名
１０／２６	・介護現場での接遇マナーについて ・利用者対応の共有事項の確認	２階　　計　３名
１１／１６	・ポジショニングについて ・利用者対応の共有事項の確認	そよかぜ　　計　３名
１／７	・接遇について（言葉遣い他） ・転倒予防について	そよかぜ　ふるさと 計　７名
２／２６	・グループ体操について ・利用者に合った車イスの選定について	そよかぜ　ふるさと 計　９名
３／５	・トロミ粉の使用量とパットの見直しについて ・業務内容の見直しについて	２階　　計　４名
【調理】		
４／２２	・腸炎ビブリオ食中毒について	栄養士、調理員　計６名
６／１４	・サルモネラ菌食中毒について	計５名
８／　６	・病原性大腸菌食中毒について	計６名
１０／１５	・ヒスタミン食中毒について	計６名
１２／１１	・カンピロバクター食中毒について	計６名
２／１１	・セレウス食中毒	計７名

会議

職員会議	期　日	内　容	出席者
	４／２４	・５月行事予定について ・感染症（百日咳・コロナ）について他	園長　他３１名
	５／２６	・６月の行事予定について ・業務見直しについて　他	園長　他３５名
	６／２６	・７月の行事予定について ・業務見直し、運営状況について　他	園長　他２６名
	７／２８	・８月行事予定について ・コロナ発症後の反省等について　他	園長　他３０名
	８／２７	・９月行事予定について ・感染症対策・接遇について	園長　他２９名
	９／２６	・１０月行事予定について ・より良い職場環境作りについて　他	園長　他２９名
	１０／２７	・１１月行事予定について ・利用者への対応について	園長　他２５名
	１１／２６	・１２月行事予定について ・利用者への対応について ・年末調整について　他	園長　他２９名
	１２／２６	・１月行事予定について ・感染症対策について ・言葉遣い、業務検討委員会ついて他	園長　他２５名
	１／２７	・２月行事予定について ・感染症について ・緊急時の対応について　他	園長　他２９名
	２／２５ （文書のみ配布）	・３月行事予定について ・感染症について ・次年度加算取得について　他	
	３／２６	・４月行事予定について ・感染症について ・新年度加算取得について　他	園長　他２７名
リーダー会	４／２４	・排泄チェック後の確実な送信 ・短期入所の対応について　他	園長　他５名

	５／９	・退職者３名に伴い今後の勤務体制について ・業務改善について	園長　　他７名
	６／１１	・業務改善について ・利用者対応について	相談員　他５名
	１２／２	・業務時間変更について ・定期的な職員移動の検討	園長　　他５名

委員会

企画委員会	期　日	内　容	出席者
	４／１４	・５月行事予定について ・感染症対策について ・職員減の今後について　他	園長　相談員 各部署主任 計 ９名
	５／１４	・６月行事予定について ・感染症対策について ・職員減での勤務態勢及び調整　他	園長　相談員 各部署主任 計 ９名
	６／１６	・７月の行事予定について ・夜勤業務の見直しについて　　他	園長　相談員 各部署主任 計 ７名
	７／２４	・８月行事予定について ・コロナ終息により反省点等 ・調理の職員不足による対策について　他	園長　　相談員 各部署主任 計 ８名
	８／１８	・９月行事予定について ・感染症対策について ・台風発生時の対応について　他	園長　　相談員 各部署主任 計 ９名
	９／１７	・１０月の行事予定について ・新人職員の指導について　　他	園長　　相談員 各部署主任 計 ９名
	１０／１５	・１１月の行事予定について ・調理パート職員採用について ・介護、看護休暇等について　　他	園長　　相談員 各部署主任 計 ９名
	１１／１７	・１２月の行事予定について ・感染症対策について ・地震、火災対策について　他	園長　相談員 各部署主任 計 ９名
	１２／１５	・１月行事予定について ・感染症対策について ・次年度の事業計画について 他	園長　相談員 各部署主任 計 ７名

	１／１６	・２月の行事予定について ・感染症対策について　他	園長　相談員 各部署主任 計 ９名
	２／１６	・３月の行事予定について ・次年度加算取得について ・業務検討委員会検討事項について　他	園長　相談員 各部署主任 計 ９名
	３／１６	・４月の行事予定について ・特定技能介護実習生について ・次年度加算取得について　他	園長　相談員 各部署主任 計 ９名
食中毒対策委員会	４／２４	・腸炎ビブリオ食中毒について	園長　他　９名
	６／２６	・サルモネラ菌食中毒について	園長　他　９名
	８／２７	・病原性大腸菌食中毒について	園長　他 ７名
	１０／２７	・ヒスタミン食中毒について	園長　他 ８名
	１２／２６	・カンピロバクター食中毒について	園長　他 ９名
	２／２５	・セレウス食中毒について	（中止の為、文書のみ配布）
感染症対策委員会	５／２６	・百日咳について	相談員 他　６名
	７／２８	・ＭＲＳＥについて	園長　他 ７名
	９／２６	・感染性胃腸炎について	園長　他 ８名
	１１／２６	・ウィルス肝炎について	園長　他 ８名
	１／２７	・標準予防対策について	園長　他 ８名
	３／２６	・感染予防の基本 ・スタンダードプリコーションについて	園長　他 ８名
保健衛生委員会	４／２４	・口腔ケアについて	事務　看護　介護 １５名
	１２／２６	・義歯の取り扱いについて	看護 介護１０名
	２／２５	・ストーマ装具交換について	（中止の為、文書のみ配布）

事故防止対策委員会	４／１４	・事故報告についての対策検討　事故９件	園長　他 ７名
	５／１４	・事故報告についての対策検討　事故６件	園長　他 ８名
	６／１４	・事故報告についての対策検討　事故０件	園長　他 ６名
	７／２４	・事故報告についての対策検討　事故７件	園長　他 ７名
	８／１８	・事故報告についての対策検討　事故６件	園長　他 ８名
	９／１７	・事故報告についての対策検討　事故３件	園長　他 ８名
	１０／１５	・事故報告についての対策検討　事故３件	園長　他 ８名
	１１／１７	・事故報告についての対策検討　事故２件	園長　他 ８名
	１２／１５	・事故報告についての対策検討　事故４件	園長　他 ６名
	１／１６	・事故報告についての対策検討　事故３件	園長　他 ８名
	２／１６	・事故報告についての対策検討　事故４件	園長　他 ８名
	３／１６	・事故報告についての対策検討　事故５件	園長　他 ８名
身体拘束適正化委員会	６／１６	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長　他 ８名
	９／１０	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長　他 ８名
	１２／１	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長　他 ８名
	３／２	・身体拘束につながる可能性について（現在の状況）	園長　他 ８名
BCP委員会（災害）	６／１６	・村内ハザードマップにて警戒区域確認 ・土砂災害避難計画の確認及び見直し	園長　他７名
BCP委員会（感染症）	１２／１５	・食器（ディスポ）の使用について ・職員感染時の対応について確認　他	園長　他７名
生産性向上委員会	１／１６	・次年度研修、委員会年間計画について ・職員の働きやすさ、職場環境改善について	園長　他８名
	２／１６	・次年度、生産性向上推進体制加算Ⅱ取得へ向けて	園長　他８名
業務検討委員会	１／１６	・業務内容の見直しについて ・人材確保、育成について	園長　他８名

【入居者サービス担当者会】

期日	参加者（名）	期日	参加者（名）
４／４	４	１０／１０	４
４／１７	４	１０／１７	４
４／２８	６	１０／２３	５
５／１２	５	１１／ ６	４
５／１６	５	１１／１９	５
５／２９	６	１１／２７	５
６／ ５	４	１２／ ９	５
６／１２	４	１２／１８	４
		１２／２３	５
７／１０	各部署への照会とプラン修正	１／ ８	４
７／１６	各部署への照会とプラン修正	１／１９	５
７／２４	４	１／２１	４
８／ ６	５	２／ ５	４
８／１１	３	２／ ９	４
８／２５	４	２／１９	４
９／ ４	５	３／ ５	４
９／１９	４	３／１３	３
９／２４	４	３／１９	４

令和７年度

【実習受け入れ 】

月　　日	内　容	人数
６月２６～２７日	椎葉中学校２学年　職場体験	１名（男）

令和７年度　事　業　経　過　報　告

行事・催し等　（園全体）

月　日	名称	内　　容	備考
９／２４	誕生会・敬老会	・村長による祝辞 ・寿豊会による舞踊・唄	利用者　４６名 職員　１６名

ボランティア

月　日	団　体　名	目的・内容
１０／２４	椎葉村老人クラブ連合会女性部	・除草及び花壇の花木植栽

令和７年度　防災訓練

期日	名称	内容	参加者
４／　９	火災・震災発生時の初動確認	＊大震災からの避難の流れ 避難経路の把握と確保	職員　１３名
５／　７	夜間を想定した避難誘導訓練	＊デイサービスより出火したとの想定で 訓練実施	職員　１７名 利用者６２名
５／２８	緊急通報訓練（１回目）	＊携帯ＬＩＮＥでの連絡 ＬＩＮＥに入っていない職員には ショートメールで連絡	職員　５７名
６／１８	土砂災害対応訓練	＊災害危険箇所確認 避難時の手順確認	職員　１２名
７月	消火器・消火栓操作訓練		コロナ感染の為中止
８／　２	昼間想定避難訓練（消防団との連携）	＊洗濯場から出火したとの想定で訓練実施	職員　１４名 消防団員３名 利用者６０名
９／１７	震災対応訓練	＊地震発生時の初動について	職員　１３名
９／２９	緊急通報訓練（２回目）	＊携帯ＬＩＮＥでの連絡 ＬＩＮＥに入っていない職員には ショートメールで連絡	職員　５３名
１０／１５	昼間想定避難誘導訓練	＊洗濯場から出火したとの想定で訓練実施	職員　１８名 利用者５６名
１１／１９	落下物点検	＊頭上の棚、ベッド周囲の落下物や通路障害物の点検	職員　１０名
１２／　４	消化器・消火栓操作訓練	＊クンレンダー（訓練用消火器）を使用した 放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員　　９名
１／２８	夜間想定避難誘導訓練	＊機械室より出火したとの想定で訓練実施	職員　１４名 利用者57名
同日	緊急通報訓練（３回目）	＊携帯ＬＩＮＥでの連絡	職員　５１名
２／１１	昼間想定初動訓練	＊厨房及び火元不明を想定して初動訓練	職員　１１名
３／１８	夜間想定初期動作確認	＊初動動作確認	職員　１０名

令和７年度　デイサービスセンター事業報告

要介護者や障害のある方達の閉じこもりを防止し、住み慣れた地域で安心・安全に生活が送れるように支援する

１、感染症予防対策に努める。

・感染防止の為、マスク着用・手洗い・消毒等の基本対策に努める。

◆送迎時ヤ利用中もマスクの着用の言葉かけと確認を徹底し、感染の基本予防対策に努めることが出来た。

・利用者、ご家族を含めた体調の確認を行う。

◆感染症流行時に限らす、迎え時には家族を含めた体調確認を徹底して実施出来た。

・手すり、ドアノブ等のこまめな消毒の実施。

◆定時の消毒と、必要時に随時、状況に合わせた消毒を実施出来た。

・デイルーム内での座席の間隔を広く取る。

◆可能な限り、座席の間隔を広く取る事で飛沫による感染を予防出来た。

２、楽しみや生きがいを持てる余暇活動の充実を図る。

・個々の身体状況に応じた活動内容を検討する。

◆利用者の身体状況に合わせた活動を検討して取り組む事が出来た。

・利用者様同士、コミュニケーションを取りながら一緒に向上していけるよう支援する。

◆利用者同士が一緒に考え、助け合いながら取り組めるような内容の活動を提供し、支援する事ができた。

・利用者様が笑顔で参加できるよう明るい雰囲気づくりを心がける。

◆座席の配慮や交流でき安い環境をつくり、笑顔で楽しく取り組める雰囲気作りを心がける事が出来た。

３、利用者・ご家族・地域の方達との連携を深める。

・敬意を持った言葉遣いや、笑顔での挨拶を心がける。

◆利用が長い利用者や職員の近隣の利用者とは、慣れがあり、馴れ馴れしく親しい言葉遣いになってしまう事もあったが、職員間で気をつけるように言葉をかけ合った。

・家族からの申し送りや情報は、職員全員で共有し統一した支援が出来るようにする。

◆申し送りや情報はその日の内に職員で周知して統一した支援が出来た。

・医療ケアが必要な場合は、専門医の受診を勧め、担当ケアマネージャーやご家族と連携しながら支援していく。

◆利用者の身体面における異常時は、家族やケアマネに連絡することが出来た。早めに対応出来る利用者においては悪化を防ぐことが出来た。

・地域との連携を密にし、情報を共有する。

◆身体面や生活環境で、気になることなど確認した時は、担当ケアマネや各関係機関との情報共有が出来た。

令和７年度　平寿園居宅介護支援事業　事業報告

実績について

・新規の受け入れも積極的に行ったが、特養への入所者や、亡くなる利用者も多く結果として前年度に比べると支援者の人数は減少している。

・居宅支援事業所のケアマネが一人体制で、担当できる件数に制限はあるが、可能な数を受け持った。

居宅介護支援について

・居宅介護支援は独居、生活保護等、地域外への有料ホームへの入所調整を行った。

・予防支援や総合事業の業務は以前に比べると件数は減ったが計画や支援等ができた。

・個別ケア会議への事例提出も要請に従って提出、検討出来た。

・地域ケア会議、情報交換会議への出席もほぼ毎回出席出来た。

・提供表、プランの交付が遅れる事があり、事業所に迷惑をかけることがあった。

その他

・利用者の身体状況に合わせて福祉車輌を利用し短期入所送迎を行った。